

# 職業能力評価研究会の議論を踏まえた労働市場政策における能力評価の課題・あり方のポイント（素案）

○労働市場における「職業能力の見える」化と、非正規雇用労働者等のキャリアゲートとしての積極活用促進を期すため、**①業界検定の新たな整備・技能検定等既存の評価制度の見直し、これらを含めた②職業能力評価の仕組み全体の体系化を図るとともに、③能力評価と教育訓練、マッチング等とを統合的に運用可能な仕組みの整備を推進すること**が有効と考えられるもの。

## 《課題》

○サード分野などで、そもそもマッチング等に活用できる検定等の実践的な能力評価の仕組みが未確立【→非正規雇用労働者のキャリアアップ等に係る課題が顕在化している分野と重なり】

○企業等の立場で採用等に当たり評価ツールを活用する客観基準、インセンティブが乏しい

○労働市場で評価される能力習得の機会が不足  
○折角評価がなされても直接就職、キャリアアップに結びつきがたい

## 《考え得るアプローチ》

### ① 業界検定の整備・技能検定等既存の評価制度の見直し

○人材ニーズやその変化を直接把握し、採用選考等の主体でもある業界(団体等)が開発・運用の主体となり、国によるプロビッド指向の(可能な限り外形上の弾力性を確保した)質保証の下、評価する能力特性等に応じた多様性を備えた実践的な評価の仕組みとして、新たな「業界検定」を整備。  
○これに併せ、技能検定制度等の既存の評価制度について、業界検定との役割分担に留意しつつ、ニーズ、課題に応じた見直しを行う。

### ② 職業能力評価の仕組み全体の体系化

○技能検定、上記の業界検定を等含め、バリエーション差しその他の質保証の共通の枠組みを整備することで、比較等の客観評価を可能とするとともに、各種公的支援等の対象に位置づけるなど、活用を促進。

### ③ 職業能力評価と教育訓練、キャリア形成支援、マッチング等労働市場政策上の関連制度との統合的運用

○職業能力評価の体系整備に併せ、教育訓練、キャリア形成支援、マッチング等との制度・運用両面にわたる有機的関連づけを行うなど、能力評価を確実にキャリアアップにつなげる基盤を整備。

## 《期待される効果》

○こうした一連の統合的アプローチにより、労働市場における実践的なキャリアゲートの整備、「職業能力の見える」化の基盤整備を実現

○非正規雇用労働者等の、多様な正社員等の多元的で安心できる働き方、キャリアアップの実現

○産業構造の変化、グローバル型労働市場の拡大等に対応した、円滑な労働の実現

○経済活動のグローバル化の中で我が国の競争力、成長を支える人材力強化

※多様な正社員等の多元的で安心できる働き方実現に関わって、モデル事例の創出・普及の検討等、この環境整備に関する幅広い検討・取組みに当たり、「職業能力の見える化」を有効活用。